



あぐい

第188号

令和3年2月1日発行

議会だより



東部コミュニティ

イルミネーションキャンドルナイト



P2 議長新春あいさつ



P3~P6 第3回・第4回臨時会、第4回定例会



P7 常任委員会レポート



P8~P17 一般質問



P18 学区探訪シリーズ（東部学区）



マチイロ

まちを好きになるアプリ

自治体と地域住民をつなぐアプリ「マチイロ」に「あぐい議会だより」を掲載しています。

議長新春あいさつ

不撓不屈



阿久比町議会議長

瀧塚政明

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃から、町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

初めに、中国・武漢から発生したとされる新型コロナウイルスによる感染症が世界的に

広がり終息の見通しが立たない状況になって

います。罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、懸命に治療に当たられている医療関係者の方々に敬意と励ましを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、これまで経験したことのない流行となり、感染を予防し

ながら日常生活を送るWithコロナの時代の到来となりました。

緊急事態宣言が解除されて以降、自粛要請の緩和や都道府県間の移動、大型イベントの解禁、GOTOトラベル

キャンペーンなど、徐々に経済活動を戻していく動きが始まりました。一方で、一度収

まりつつあった新規感染者数は6月末から東京を中心に再度増加。7月末にピークを迎え

以降、徐々に減少傾向がみられていました

が、気のゆるみ、秋冬のインフルエンザ流行

シーズンと重なって第三波が訪れ、第二波の

新規感染者数の記録を更新しました。感染症

を正しく恐れて、警戒、予防し、新しい生活様

式を守りながらお過ごししていただきますよ

うお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症に

関しては、ワクチンの開発が進むなど、明る

い兆しも見えてきております。人間の英知を

結集すればこの苦難を乗り越えられると信じて

おります。東京オリンピックの延期が発表され、様々

なイベントが縮小、中止されるなか、町民の

皆様においては大変なご不便と、ご苦労をお

かけしました。令和3年は令和2年分も上乘

せした、希望に満ちた

年となることを切に願います。

明るい話題として、阿久比町におきまして

は、昨年8月に「新学校給食センター」が完

成し8月下旬より新センターからの給食提供

が開始されました。新学校給食センターは、

旧センターの老朽化、食数の増加、学校給食

衛生管理基準等に対応し、より安全・安心・

おいしい給食を提供する施設、設備として建

設されました。新センターは、様々な経験を

通して「食」に関する知識と「食」を選択する

力を習得し、健全な食生活を実践すること

ができる人間を育てる食育の拠点として活用

でき、アレルギー食対応専用の調理室が設置

されたことにより、アレルギーに悩む子ども

たちにも、安全・安心・おいしい給食が配

膳できることになりま

す。また、災害が発生した場合、炊き出しの

拠点として活用できる設備も設置しており

ます。これらの業務がこのセンターで効率的に

運用され、阿久比町の次世代を担う子どもた

ちの食を支える中心的な施設として発展して

いくことを期待しております。

町議会は町民の皆様と同じ視線に立ち、住

んで良かった、これからも住み続けたいと実

感できるまちづくりに、議員一同全力で取り組

む所存ですので、今後とも皆様のご支援・ご

協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申

し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和2年第3回臨時会

議決内容

会期/11月11日

議案/補正予算1件、報告1件

○賛成 ×反対 一議長

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案 47	令和2年度阿久比町水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
報告 9	専決処分の報告について(和解及び損害賠償について)	報告は賛否を採らない。														

令和2年第4回臨時会

議決内容

会期/11月30日

議案/条例等5件

可決

阿久比町新型コロナウイルス感染症に関する安心まちづくり条例の制定について

提案理由：新型コロナウイルス感染症の感染拡大を町一丸となって防止し、不当な差別的扱い等を禁止することで、町民が安心して生活できるよう、本条例を制定する必要があるため。

○賛成 ×反対 一議長

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
議案 48	阿久比町新型コロナウイルス感染症に関する安心まちづくり条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決
49	阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
50	阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
案 51	阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	—	可決
52	物品の購入契約の締結について(GIGAスクール用ソフトウェア購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決

反対討論

竹内 強 議員

次の観点から反対する。
 ・職員は議員・特別職と違い、従うしかないため一時金値下げは許されない。
 ・コロナ禍で職員の仕事がかれまで以上に大変になっている。住民に寄り添い親身になった業務が求められる。お金だけの問題ではないが意欲の低下につながる。
 ・社会状況、不景気、民間企業の給与が下がっている。人事院勧告はそういった中身である。論理が本末転倒である。世の中が不景気だからこそ、お金を使って景気を盛り上げるのが本筋である。

可決

阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正について

令和2年第4回定例会

主な議決内容

会期／12月8日～21日

議案／条例等4件、補正予算6件、諮問1件、意見書2件

可決 第6次阿久比町総合計画基本構想の策定について

提案理由：第6次阿久比町総合計画の基本構想を策定するため。

可決 阿久比町国民健康保険税条例の一部改正について

提案理由：地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

可決 阿久比町介護保険条例の一部改正について

提案理由：租税特別措置法の一部が改正されたことに伴い、本条例を改正する必要があるため。

可決 愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合同約の変更について

提案理由：愛知県市町村職員退職手当組合から尾張市町交通災害共済組合を脱退させ、愛知県市町村職員退職手当組合同約を変更することについて協議する必要があるため。

可決 令和2年度阿久比町一般会計補正予算（第7号）

可決 令和2年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

可決 令和2年度阿久比町介護保険特別会計補正予算（第2号）

可決 令和2年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

可決 令和2年度阿久比町水道事業会計補正予算（第5号）

可決 令和2年度阿久比町下水道事業会計補正予算（第2号）

臨時会・定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全員協議会の開催場所を議場に変更しました。議会に出席する者全員マスク着用、演台等にアクリル板を設置。傍聴席数を制限し、傍聴者もマスク着用、手指消毒などのご協力をいただきました。

令和2年第4回定例会

○賛成 ×反対 ー議長 □議長裁決(可)

番号	件名	大村文俊	小柳みゆき	都築清子	新美三喜雄	竹内卓美	山本和俊	石川英治	山本良輔	渡辺功	山本恭久	澤田道孝	竹内強	久保秋男	瀧塚政明	結果
53	第6次阿久比町総合計画基本構想の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
54	阿久比町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
55	阿久比町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
56	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合同約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
57	令和2年度阿久比町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
58	令和2年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
59	令和2年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
60	令和2年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
61	令和2年度阿久比町水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
62	令和2年度阿久比町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	可決
諮問	1 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	適任
意見書	4 防災・減災・国土強靱化の推進・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	ー	提出
意見書	5 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	欠	○	×	□	提出
陳情	12 「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書の提出を求める陳情書															
陳情	13 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書															
陳情	14 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書															
陳情	15 国立病院の機能強化を求める陳情書															
陳情	16 「地元自治体との連携による経営支援体制確立と地域商工業振興に対する施策の拡充」															
陳情	17 福祉保育職場の配置基準と賃金の引き上げの実現を目指し国に対し意見書提出を求める陳情															
陳情	18 国の責任による少人数学級の前進を求める陳情書															



人権擁護委員の推薦(新任)

かわい じゅんこ
河合 純子 氏(板山) 法務大臣へ推薦することにしました。

人権擁護委員は、国民の基本的な人権が侵犯されないように全国の市町村に配置されていて、皆さんからの意見や相談を受け付けています。



町民の声を
内閣総理大臣
などに提出

採択

防災・減災・国土強靱化の推進・拡充を求める意見書

提出者 大村文俊議員

近年、全国各地で起こる自然災害が激甚化・広域化している。

国に対し「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」の5年以上の対策期間延長、地方財政措置の拡充を図ることなどを求める。

採択

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

提出者 澤田道孝議員

人類史上初めて広島・長崎に原子爆弾が投下されて75年が経過。

「唯一の戦争被爆国」として核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加、調印、批准することを強く求める。

賛成討論

竹内 強議員

この条約が極めて重要な中身になっているという点を強調したい。

北朝鮮の核開発が問題になっているが、世界の国から核兵器を無くすことを全面に押し出しながら、北朝鮮の孤立をつくる事が重要である。

その点で、核兵器禁止条約に一刻も早く日本政府が賛成し批准国になり、その先頭に立つことを訴える。

阿久比町 選挙管理委員

委員及び補充員が決まりました。

任期

令和2年12月25日から
令和6年12月24日まで

委員

新美博康 (東部)
仙波 晃 (英比)
平井執男 (草木)
新美洋子 (南部)

補充員

竹内秀一 (南部)
市川久司 (東部)
小林保行 (英比)
竹内 淳 (草木)
(敬称略)

「阿久比町新型コロナウイルス感染症に関する安心まちづくり条例」を制定しました。

コロナからみんなで守ろう 阿久比町

条例の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を町一丸となって防止し、不当な差別的取扱い等を禁止することで、町民が安心して生活できる社会を守るため。

条例の主な内容

●町が行うこと

- 新型コロナウイルス感染症が発生したときやそのおそれがあるときは、町内における発生やまん延を防止するために必要な対策を的確かつ迅速に実施すること。
- 正確かつ最新の情報の収集、整理及び発信に努めること。この場合に、個人情報保護に留意し、風評被害の発生の防止に努めること。

●町民の皆さんにお願いすること

- 新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を持って、予防やまん延防止に十分な注意を払

うよう努めること。

- 感染症対策に協力するよう努めること。

●事業者の皆さんにお願いすること

- 新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識を持って、予防やまん延の防止に十分な注意を払うこと。
- 自己の管理する施設や場所で、適切な感染拡大防止のための措置を講ずるよう努めること。
- 感染症対策に協力するよう努めること。

●不当な差別的取扱い等の禁止

- 新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者・家族、医療・介護・福祉などの従事者に対して、感染していることやそのおそれがあることを理由として、不当な差別的取扱いや誹謗中傷をしてはならないこと。
- 根拠のない情報や誤った情報により、風評被害を発生させてはならないこと。

*詳しくはホームページを確認してください。

■お問い合わせ 健康介護課 保健係 ☎0569-48-1111 内線1521

常任委員会レポート

令和2年度阿久比町一般会計補正予算

を取扱店に委託するた
めの1ヶ月分の手数料。

(竹内 卓美 議員)

総務建設

第6次阿久比町総合計画基本構想の策定

実施がどのように見えてくるのか。

10年間の方向性の施策は実施計画で示し
ることができる。

住民アンケートが
回答率40%と低いが発
の考え。

住民への周知や「まちづくり懇談会」の開催の仕方を検討す
る。

行政協力員へ貸し出すタブレットのネットワーク環境は整っているか。

SIMカードをタブレットに挿して使用予定のためネットワーク環境はつながる。

災害用備品「個室
プライベートルーム」仕様。

縦横各210cm・高さ220cmの屋根付きで、テントが自動的に開くイメージのもの。

衛生費のうち役務費の
手数料の内容。

令和3年4月1日から家庭系可燃ごみ処理有料化に伴い、令和3年3月から新しい指定ごみ袋の販売を開始。その指定ごみ袋の交付



第6次総合計画基本構想の工業系ゾーン・商業系ゾーンを視察

教厚

令和2年度阿久比町一般会計補正予算

GIGAスクール構想の環境整備について自宅にネット環境がない場合の対応。

現在、使用するソフットの検討段階だが何らかの方法を考えていきたい。

新型コロナウイルス感染症対策交付金とGIGAスクール構想推進事業の関係。

令和5年度までの予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策で休校や非接触型環境がもたらされるよ

うになり令和2年度中に整備することとなった。

学校給食運営費の光熱水費で電気量が当初見込みを約400万円上回った原因と対策。

セクター内の空気の入れ替えを行うため空調機と併用して使用する外調機の稼動状況と考えている。対策としては電気量が一定に達したらブザーを鳴らして外調機を止める。

小・中学校の海外派遣事業などが新型コロナウイルスの感染症対策のため中止となった。児童・生徒に対する説明方法。

マスコミ、広報などを通じて事業中止を知らせた。

(小柳みゆき 議員)

12月15日に総務建設委員会を、16日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

道路調査特別委員会

設置期間

令和2年9月
～令和4年12月

目的

主に都市計画道路(名古屋半田線・矢高横川線・環状線)の進捗及び現状の課題を調査し、町民に広く情報を開示し、町民の利便性に寄与すべく、町民代表として町・県に要望し、計画の早期実現を図る。

都市計画道路「名古屋半田線」の進捗

建設環境課より聴取。阿久比町地内は、昭和41年12月に都市計画決定され、路線全体の総延長は東海市名和町から半田市有楽町までの22kmの都市計画道路である。

本題である東浦・阿久比工区は、現在予備設計の段階で事業化の準備を始めている。

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う

今議会では、12月9日(水)・10日(木)に9名の議員が一般質問を行いました。
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずぬるものです。
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1ページで、掲載しています。

発言時間 60分

ページ	議員名	質問項目
9	竹内 卓美	1. 避難所
10	都築 清子	1. SDGsの取り組み 2. 卯ノ山児童館の現状と今後
11	渡辺 功	1. コロナ禍がもたらす新たな公共の姿
12	山本 恭久	1. 家庭系可燃ごみ処理費用負担 2. 資源ごみ回収品の重量と基礎単価の信頼度向上対策
13	新美三喜雄	1. 福祉避難所の在り方 2. 農地の耕作放棄地対策 3. 役場の技術職員の必要性
14	大村 文俊	1. 阿久比町でDX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させるために何をすべきか 2. 令和3年度の予算編成の考え方は

ページ	議員名	質問項目
15	石川 英治	1. 阿久比町を旅する蝶 アサギマダラの休憩地に 2. 押印廃止 3. 知多半島道路上り線にパーキングエリアが計画されて進捗状況は
16	竹内 強	1. 介護保険制度の実態 2. 中学生の通学路問題 3. 自衛隊員の募集に関する問題
17	小柳みゆき	1. 保育園等の入園 2. 学校選択の来年度の状況

今回の傍聴人数 延べ **27**人

答弁者 町…町長 総…総務部長 民…民生部長 建…建設経済部長 教…教育部長

 本号から各議員が質問した記事に関するSDGsの目標のアイコンを掲載します。

避難所

課題を整理し方向性を示す



竹内 卓美 議員
(済和会)

近年の自然災害は、今までの経験則が通用しない災害も増え、被害も拡大傾向にあると感じる。

幸い阿久比町では、近年各地区の避難所を開設するような災害は起きていないが、今後もしその幸せが続くとは限らない。感染症対策と避難所のあり方も変えていく必要がある。

問 過去に大きな被害をだした災害があったが、今までに避難所を開設したことはあるか。

答 **総** 昭和49年豪雨時に1ヶ所、昭和51年豪雨及び平成12年豪雨時に各10ヶ所の避難所を開設している。

また、大雨等警報発令時には、自主避難所を開設できるように準備している。

問 避難所運営マニュアル(本編P5)「災害時の責任者」には、「設備の使用などについては、必ず施設管理者の判断を仰ぐべし」とある

が、設備とはどんなものが、設備とはどんなものか。

答 **総** ガス・電気・水道などのライフラインを想定している。二次災害防止と安全確保の観点から、施設管理者の判断を仰ぐよう記載している。

問 同P16「9町災害対策本部への連絡」には、「FAX・電話・伝言などで、町災害対策本部に連絡する」とあるが、FAX・電話合わせて同時に何回線使用可能か。また、令和の時代SNSによる連絡法を追加する考えはないか。

答 **総** 町代表番号を16回線、災害時優先の固定電話を6回線、優先の携帯電話と衛星携帯電話を各1回線保有している。

FAXは、代表番号の他、災害時優先の固定電話2回線をFAX1回線分として利用する。SNSの利用は、町公式ツイッターの運用方法とともに、今後検討していく。

問 避難所が開設され町民以外(町内訪問者・通過者等)が避難されてきた時は、受け入れるよう統一した対応ができるか。また、路上生活者等の受け入れ拒否をしないことも統一されているか。

答 **総** 帰宅困難者も一般の避難者と同様の対応となる旨を指示している。路上生活者は、今年度の愛知県地域防災計画で適切に受け入れる旨の修正がなされており、あわせて町の地域防災計画の見直しを進めている。

問 感染症対策として、社会的距離をとることが求められている。対策をした結果、仮に受け入れ不能になった場合の対策。

答 **総** 学校の空き教室等を活用すべく、施設管理者と協議していく。また、コロナ禍の災害時に、体育館を避難所として利用する協定を阿久比高校と締結した。

問 外国人居住者も増加しているが特に、言葉の問題はどうか。

答 **総** 防災マップ多言語版の町ホームページへの掲載や、簡易なイラストと多言語を併記したコミュニティション支援ボードを避難所に配備している。

また、町で保有しているA1音声翻訳機6台も活用していく。

問 分散避難という避難法がある。

指定避難所に避難する人が減れば、社会的距離も確保しやすい。推奨したい避難法だと思いが、積極的に発信されていない。

分散避難をどう考えているか。

答 **総** ホームページ、広報あぐい及び回覧で周知してきた。引き続き、啓発を促進していく。

問 分散避難には車中泊も含まれる。車中泊は自宅駐車場でも可能。新学校給食センター駐車場、多目的広場も受け入れ可能とのこと。

答 **総** 車中泊等は、有効な手段の一つと考えている。

避難した場所の把握や物資の供給方法等の課題を整理し、一定の方向性を示しながら、周知を図りたい。



多目的広場が避難場所となる

新学校給食センター駐車場と多目的広場



エスディーゼーズ 「SDGs」の取り組み

促進ワークショップを開催予定



都築 清子 議員
(公明党)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(Sustainable Development Goals)
「持続可能な開発目標」と訳す
さまざまな課題解決のために
世界中で取り組む 17 の目標 (ゴール) のこと

問 SDGsは「誰ひとり置き去りにしない」という理念のもと、持続可能な社会を実現するため国連で明らかにされた17のゴール目標。

問 どのように取り組みを進めているか。
答 地域の持続的な発展にとっても、重要な普遍的な目標。町内の企業や住民の皆さんに理念を理解していただき連携しながら地域課題の解決につなげる。

問 自治体戦略の活用。
答 「第6次阿久比町総合計画」の基本計画で定める各施策に関連するSDGsの目標を掲げている。

最上位計画である総合計画でその方向性を表し、関連する個別計画にも方針を取り入れ、今後の施策・事業を進める。

問 町職員の認知度。
答 総合計画の策定にあたりSDGsの目標を取り込むことを伝え進めている。

また「広報あぐい」作成時には、ロゴマークを掲載するため、意識しながら行っており職員は認知している。

問 町民への効果的な啓発。
答 地域の持続的な発展にとっても、重要な普遍的な住民の目に触れる機会が多い「広報あぐい」に、本年7月1日号から掲載。

今後、住民向けにSDGsへの理解と課題解決を体感的に感じ、具体的な行動へつなげていくことを促進するワークショップを開催する予定。

問 教育現場での取り組み。
答 「持続可能」の言葉が使われるなど、SDGsで目指している内容が、様々な教科に盛り込まれ、子どもたちは教科書を通じてSDGsを学んでいく。

また、愛知県作成の普及啓発冊子「中学生のためのSDGsスタートブック」を中学1年生に配付し、SDGsの理念や取り組みを理解してもらう。



時代に合った児童館を 駐車場は使用できる場所を検討

「卯の山児童館」は昭和51年建設で44年が過ぎ、時代に合った児童館のあり方が必要になっている。

問 利用状況。
答 令和元年度は
・ 幼児3073人。
・ 小学生2285人。
・ 中学生以上384人。

土・日・祝日と平日の夕方は、小学生の利用が多く、平日の日中は、幼児の利用が多い。町外の利用者は2%程度。

問 利用者の声を施設職員や担当部局で共有。
答 施設職員と子育て支援課で情報共有を行い、連携している。

問 安全面の確保や整備。
答 耐震補強など適正な維持管理を行っている。

駐車場は、引き続き使用できる場所を検討する。



卯ノ山児童館駐車場

問 近隣市町との比較、今後の児童館のあり方。
答 知多地域の設置状況は、市町ごとに0館のところもある。

本町の児童館新設の計画はなく、既存の児童館を活用し「地域における子育て支援」や「児童の健全育成」の充実に努めていく。





渡辺 功 議員
(新政会)

コロナ禍がもたらす新たな公共の姿

縦割りや前例主義にとらわれない



コロナ禍は都市と地方のあり方や広域連携の必要性等、改めて地方自治の課題を浮きぼりにした。今回の教訓を生かし、地方自治体として地域課題の解決にどう取り組むべきか。

問 行政機関は今までにない対応を緊急に迫られた。主な内容。

答 町 2月に「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を立ち上げ、状況報告や陽性者確認時及び今後の対応を決定していくこととした。

3月には、小中学校の臨時休校に伴う自主登校教室や、幼稚園短縮自由登園の対策を実施した。

また、医療機関等へのマスク・消毒液の配布や公共施設の消毒作業にあたる防疫班を設置するとともに、感染者への支援を行う緊急時生活支援チームの設置を行った。

役場業務においては、サテライトオフィスの設置や職員の時差出勤等を実施した。以後、陽性者が確認される毎に、状況に応じた対応に当たっている。

事業者への支援事業

- ・新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業
- ・阿久比町新型コロナウイルス感染症対策理美容事業者協力金交付事業
- ・阿久比町新型コロナウイルス感染症対策クーポン商品券事業
- ・阿久比町新型コロナウイルス感染症飲食店感染予防対策給付金事業 など

家庭への支援策

- ・経済対策等の支援事業
- ・特別定額給付金給付事業
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
- ・ひとり親等世帯特別給付事業
- ・水道基本料金免除事業
- ・給食費の無償化事業 など

問 公共部門のデジタル化の遅れが顕在化した。

本町における特別定額給付金状況と今後デジタル化推進にむけての展開。

答 町 特別定額給付金は申請のあった1万760世帯2万8千655人全員に給付し、内オンライン申請は約2・5%だった。今後は、国の推進に準拠しつつ、本町ICT活用計画に基づきデジタル化を推進する。

問 コロナ禍の経験を鑑みて、地方自治体のめざすべき姿として「新しい生活様式」への対応策。

答 町 新型コロナウイルス感染症の影響により、税収減の可能性が高く、財源の見通しが不透明な中で、優先・重点的な施策を確実に推進する。

国の施策にも注視し、町民が安心して生活できるように施策を着実に進める。

問 縦割り行政や前例主義にメスを入れるチャンス。事業効率や行政コストの削減にむけ、会議運営や行事・イベントなど、思い切った見直しを。

答 町 「新しい生活様式」を取り入れ、行事を実施するときは、感染予防を徹底し、社会情勢を見極めながら行事の取捨選択をする。行事のあり方や必要性は縦割りや前例主義にとらわれることなく検証する。

問 「阿久比町新型コロナウイルス感染症に関する安全まちづくり条例」の推進。

答 町 条例は、行政・町民事業者の責務を定め、不当な差別的取扱い等を禁止することで、町民が安心して生活できるように呼びかけるものである。

具体的には、町ホームページ、町広報に載せるなどして、その趣旨を普及させる。

また、学校や保育園等や町主催の会議等の場、町商工会などの各種団体を通じて啓発していく。

問 来年度税収見込みと予算編成にあたっての留意点。

答 町 来年度の町民税は全体で6%減の見込で、厳しい財政状況となる。

予算編成は、納税者の視点を大切にしつつ、ムダの削除、緊急性・重要性による事業の取捨選択を行うことを方針としている。

問 菅新総理は「自助・共助・公助」を自らの政策理念とした。本町は。

答 町 自助・共助、最後に町民を守る公助は、町が進める参画と協働のまちづくりに合致する。

これからも役場が「町民のために役に立つ場」となるよう尽力する。

家庭系可燃ごみ処理費用負担



山本 恭久 議員
(黎生の会)

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

「おむつ処理」の無料化を検討

問 令和3年4月から家庭系可燃ごみ処理費用有料化が始まる。可燃ごみ袋の価格が5倍に値上げすることが減量化の根本的な解決策になるとは思えない。制度変更に伴い新たな課題も生まれてきている。

答 有料化による減量効果と財政負担の軽減目標。家庭系可燃ごみの20%減量を目標にしている。

問 可燃ごみ袋の販売収入は、令和3年度から処理手数料収入となり、約4千万円の収入増が見込まれ、収集・運搬などの財源となる。

問 住民説明会の実施。

答 住民への周知は、町広報・HP・全戸配布チラシ・回覧などで行っている。

11月からは、ごみステーションや、指定ごみ袋取扱店へ有料化のPRポスターの掲示を進めている。

したがって、住民説明会の実施予定はない。

問 今後の方針と取り組み。

答 有料化による減量効果に加え、資源ごみの分別や、生ごみ対策の徹底などを、広報・HPでPRしていく。

刈草・剪定枝の資源化は、なるべく費用を掛けない方法を検討している。生ごみ処理の「キエーロ」を職員が実際に使用し、効果を検証している。

問 育児と障がい者を含めた介護の場面で使用される「おむつ」への対応と考え方。

答 福祉的な観点から、子育て、高齢者、障がい者の方々などに関係する支援策として、手数料を無料とすることを検討している。

問 刈草、剪定枝への対応。

答 可燃ごみから別処分にしても、新たな経費が発生するため、なるべく経費の掛からない方法を検討している。



燃えるごみとして処理される刈草・剪定枝。暗中模索からの脱却はいつ?リサイクルは?

問 交換比率と方法について「等価交換」に向けた見解と、出張交換の実施。

答 等価交換は、交換パターンがいくつもあり、手間が掛かり過ぎるため、考えていない。出張交換は、現在検討しているが、地区の協力が必要である。

問 新・可燃ごみ袋の単価設定の考え方。

答 環境省の手引きを参考にし、20%の減量を目標とした場合の手数料を目安に、近隣市町の状況を参考に、総合的に設定した。

問 旧の可燃ごみ袋を使用した場合の対応。

答 警告シールを貼ることで、排出ルールの間違いを伝え、正しい排出を促す。

問 事業系可燃ごみとの差別化とチェック要領。

答 袋を開けて中身を確認し、個別に指導している。

今後、監視に務める一方、各事業所に対し適正処理の啓発を行う。

資源ごみ回収品の重量と基礎単価の信頼度向上対策

重量測定精度は低くない

資源ごみ回収の収益金は、地域の活動資金として重要な位置付けとなっている。

回収実績と成果が見えにくい状況は、依然として改善されていない。

問 重量測定方法と精度向上対策。

答 測定方法は、資源収集業者が、各ステーションで品目ごとに重量で計量した後、収集場で計量器により計量する。手量りと計量器で生じ

問 種類別の売却単価を定める時期と基準の明確化。

答 単価は、収集業者がリサイクル業者等へ売却時の時価で、市場価格の動向を見ながら平均的な単価となるよう調整し、月毎に決めている。

た差を按分し、収集量に振り分けている。

その軽量差は、0〜6%程度のレベルで、精度は低くないと考えている。



新美三喜雄 議員
(新済会)

福祉避難所のあり方

自主防災会との連携を図る



問 災害の発生時、高齢者・障がい者の死亡率は2倍とされており、特に本町において高齢者は、2025年に75歳以上が、12・6%から25%に増え、介護施設の利用者も急増する可能性がある。そこで各地区では、災害避難に当たり介護施設との連携を含め、各施設の災害避難マニュアルの充実が求められている。

問 各福祉施設の災害避難マニュアルの有無及び防災訓練の実施の実態。
答 民 介護施設の災害避難マニュアルは、国の基準に基づき、施設ごとの運営規程に定められており、町は、施設の実地指導などの際にマニュアルの確認を行っている。防災訓練の実施は、各施設において実施されており、地域の防災訓練に参加しているところもある。

問 災害発生時の福祉避難所の役割。
答 総 災害時に何らかの特別な配慮を要する方を受け入れる二次避難所として、「阿久比一期一会荘」「パスピ98」「ひらめき2%」を指定している。支援内容は、食事や日常生活用品等の提供、要配慮者特有の支援も提供される。

問 災害発生時の福祉避難所の役割。災害発生時、地区・行政・福祉施設・福祉避難所の連携が欠かれないが、その体制。
答 総 地区や福祉避難所との連携は深めているが、福祉施設とは課題が残る。福祉施設で策定する非常災害対策計画に基づき、避難誘導方法の検討と避難訓練の実施をお願いしている。地区でも福祉施設と連携できるような体制づくりをお願いしたい。

耕作放棄地対策 更なる活性化を図る



豊かな自然を守るために重要なのが、農地保全であると考えるが、本町の農業政策は、国・県に準拠するのみで総合計画にある「自然と調和」「豊かな自然と共生」の目標に対し政策が不十分である。

問 現在の耕作放棄地の面積と全農地面積に対する割合。
答 律 町内の農地では令和元年12月末現在24・4ha確認している。山林原野等を含まない全農地面積は905・5haであり、耕作放棄地の割合は2・7%である。

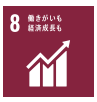
答 建 耕作放棄地24・4haのうち貸付意思のある農地は13・2haである。

問 貸与不適當な農地の課題は、農地改良と集積集約化とされるが、それに対する本町の取組。
答 建 「人・農地プラン」における地域での担い手への集積集約化の推進、農地中間管理機構による集積集約、多面的支払機能交付金事業による農業施設の維持管理を進めている。地権者と担い手のコーディネーター役に農業委員・町・JAが協力し、双方のつながりを深め、必要な農地改良などの対策を一緒に計画していただきたい。

9・8億円の132%にもなる。
問 委託料の中で、ICT化関連・土木建設関連で各々どれほどの金額・比率。
答 総 ICT化関連の経費は約1億1千756万円で9%。土木建設関連経費は約4千640万円で3・6%。

問 委託するのは、 manpower不足及び専門性が高い事が要因。過去も含め技術職職員の求人・採用の実績はあるか。その課題。
答 総 土木技師や保育士・保健師・管理栄養士などで実績があるが、ICT関係の有資格者の実績はない。課題は、専門職の応募者数は少なく受験後の、辞退者も多い。阿久比町職員になることの魅力を学生等にさらに発信していきたい。

役場の技術職員 採用活動を見直す



令和元年度の決算によると、委託料は約13億円で人件費の内の職員給与

デジタルトランスフォーメーションの加速を

積極的なデジタル化と職員の意識改革が必要



大村 文俊 議員
(高志会)

市区町村長の皆さまへ

マイナンバーカードの普及拡大にご協力をお願いします！

① 申請数を増やしてください！

- ☑マイナポイント事業や健康保険証利用などのPR
- ☑商業施設等での出張申請受付や申請サポートの積極的な実施
- ☑QRコード付き交付申請書の有効活用

② 円滑に交付できるように体制を拡充してください！

- ☑交付通知書の早期発送の徹底
- ☑夜間・土日対応のさらなる実施
- ☑個人番号カード交付事務費補助金の積極的な活用

③ 職員やその家族への普及拡大をお願いします！

- ☑可能な限り早期の申請の呼びかけ

優良事例の紹介や補助金の活用方法などのお問合せは以下までご連絡ください。

総務省自治行政局住民制度課
電話：03-5253-5517
メール：juki@soumu.go.jp

※DX=デジタルによる変革

技術進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること
[Digital Transformation] (デジタルトランスフォーメーション)

※ICT=情報通信技術

[Information and Communication Technology]
(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)

ICTの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させると定義されている。
DXへの取組みは、地方自治にとって重要な課題。

問 職員のDXに対する現状と今後。

答 (総) オンライン申請、アプリ等の導入を実施しているが、現在も多くの行政手続に紙を利用し、窓口での対面手続が主流

となつてきている。今後必要な事業の積極的なデジタル化と職員の意識改革が必要と考えている。

問 ICT活用計画の今後。

答 (総) オープンデータの掲載は今年度から、Web会議や防炎情報の電子化など行政のデジタル化及び行政手続きのオンライン原則化は順次実施している。

問 マイナンバーカード普及への考え方。

答 (総) 職員の令和2年11月末時点での交付申請済みを含めたマイナンバーカードの取得率は、51・61%。

取得することによるメリットを伝え、未申請者に対しては申請を適宜勧奨し取得促進をする。

未来を希望の

持てる予算編成

納税者の視点を大切に

事業の効率性を追求し、公共資産への投資財源をいかに捻出するのか。

その考えの具体的取組み。

問 令和3年度の予算編成で考えている新事業。

答 (町) 令和3年度予算は新型コロナウイルス感染症の影響等により大変厳しくなることが予想される。

ムダの削除、緊急性・重要性による事業の取捨選択を行うこと等により納税者の視点を大切にした予算編成方針とした。

問 業務効率化に着手する事業。

答 (町) 令和3年度予算は現在策定中であり、町長裁定を実施していない状況の為、お答えできないことをご理解いただきたい。

問 自主財源の確保の具体的取組み。

答 (町) 令和3年度予算は現在策定中であり、町長裁定を実施していない状況の為、お答えできないことをご理解いただきたい。



石川 英治 議員
(新風会)

アサギマダラ

飛来も確認

15 陸の豊かさも
守ろう



問 6月にはホタル、秋にはハッチョウトンボが高根湿地で観られる。知多半島内で旅する蝶アサギマダラの休憩地にしようとする動きがある。そこで本町でも昼間観られるアサギマダラを呼びよせてはどうか。

答 **建** アサギマダラを飛来させたいと考え、令和2年4月ふれあいの森に大府市環境課より分けていただいたフジバカマ25株を、駐車場から園内に入つてすぐの左側の花壇に植えた。

9月末には高さ150cmほどに成長し満開に咲き誇り10月にはアサギマダラの飛来も確認している。



フジバカマにとまる「アサギマダラ」

押印廃止

慎重に進める

問 国で、押印廃止の動きがある。

答 本町でも、役場に書類を取りに来るときは印鑑を持参するのが一般的だが、押印廃止にすれば案

になるが、どの様な対応が、押印廃止にすれば案になるか、具体的な検討にはいたっていないが、押印の必要がない申請書類などは廃止する方向で進め、円滑な窓口業務ができるようにする。
国の動向も確認しながら慎重に進める。

阿久比上りパーキングエリア

完成時期は未定

知多半島道路上り線にパーキングエリアが計画されている進捗状況と規模。

問 面積はどのくらいか。

答 **建** 計画面積は約1.5ha程度である。

問 完成目標はいつ頃になるのか。

答 **建** 完成目標は現時点では未定と伺っている。

問 スマートインターの予定はあるか。

答 **建** 計画されていないと伺っている。

問 アクセス道路は知多半島道路の東側と、西側等考えられるがどの様になるのか。

答 **建** 知多半島道路の西側に位置するため西側の町道108号線からのアクセスをメインルートとして考えている。

問 東側アクセスを考えた時、阿久比高校の前を通ることになるのか、その時大型車が通れるように拡幅すると思うがどうか。

答 **建** 東側からのアクセスは知多半島道路の東側の町道草木岩滑線を北上し中部工業団地の前を

通り町道108号線に抜けるルートを考えている。トとして考えている。阿久比高校の前を通ることは想定しておらず拡幅の計画はない。

問 阿久比高土地改良事業との関連はあるのか。

答 **建** 関連はない。



11 住み続けられるまちづくりを





介護保険制度の実態

入所・在宅 両サービス拡充が必要



竹内 強 議員
(日本共産党)

① 高齢化人口・高齢化率 各年10月1日現在

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
65歳以上人口(人)	6,989	7,167	7,258	7,310	7,351	7,424
高齢化率(%)	24.8	25.1	25.3	25.4	25.6	25.9

② 認定者数(人)

	2015	2016	2017	2018	2019
認定数	1,027	1,096	1,052	816	1,000
要介護3以上	314	336	324	290	322

③ 要介護状態区分の目安

※状態の説明はあくまで目安です。

要介護状態区分	おおむねの心身の状態
要介護2	立ち上がりや歩行が自力では難しく、排せつ・着脱など身の回りのことに部分的な介護が必要な状態。
要介護3	要介護2と比較し、日常生活動作を自力で行うことが困難で、身の回りのことにほぼ全面的な介護が必要な状態。

④ 老人世帯数

	2020	
65歳以上の単身世帯数	766	10月現在
70歳以上の高齢者のみで構成される世帯数	1,040	9月現在

現在、要介護3以上 316人のうち

65歳以上の単身世帯数	12人
70歳以上の高齢者のみで構成される世帯数	69人

⑤ 特養待機者【一期一会荘】(人)

	2017.4	2018.4	2019.4	2020.4	2020.11
待機者数	180	88	161	159	152
うち阿久比町民数	84	50	80	80	74

要介護2以下(入所要件を満たさない)も含む

自助・共助・公助とは、本来あるべき国や自治体の果たすべき役割を後景に追いやることではない。高齢者福祉の分野で具体的にどうなっているか阿久比町の実態。

問 ① 町内の高齢者人口の推移(2015年～2020年) ② 介護認定を受けている人は何人で、そのうち要介護3以上の人数。

答 町としての解決策は、現在作成中の「第8期介護保険事業計画・高齢者

多様なサービス提供が可能な「地域密着型小規模多機能型居宅介護」の拡充を盛り込む予定である。

③ 要介護3とはどのような状況か。 ④ 老人世帯数と、そのうち要介護3以上の人のいる世帯。 ⑤ 特別養護老人施設の5年間の待機者の推移と、その解決のための具体的策。

福祉計画」において検討している。入所及び、在宅の両方のサービス拡充が必要との認識。計画には、介護保険給付の対象となる有料老人ホーム「地域密着型特定施設生活介護」及び通い訪問、ショートステイの

中学生の通学路

関係機関と協議



問 オアシス大橋を渡り、役場南東の交差点を横断する生徒の急増が見込まれるが、その対策。
答 陽なたの丘在住の生徒の通学路として考えられる迂回路を検討した。

阿久比川沿いや、歩道と車道が分離されていない道路を通ること、踏切を渡らねばならないなど、危険な面も考えられることから結論は出ていない。引き続き、シミュレーションをして、関係機関や学校とも協議を重ね、生徒が安全に通学できるルートを考えていく。

自衛隊員の募集

必要な資料の提出を求めることができる」と規定

問 住民基本台帳の閲覧は「特別な便宜をはかっていない」とのことだが「法令の規定する範囲」とは。

答 対象者情報の提供については、自衛隊法施行令第120条で「防衛大臣は、自衛官募集に關し市町村長に対し、必要な資料の提出を求めることができる」と規定されており、住民基本台帳法第11条の規定により住民基本台帳を閲覧させている。

近年、防衛大臣から紙媒体又は電子媒体での提供を依頼されており、阿久比町個人情報保護条例第7条第2項第2号の規定により提供できるため、今後は、紙媒体で提供していきたい。

保育園等の入園

社保加入要件撤廃を進める



小柳みゆき 議員
(桜海会)

小さい子どもを持つ家庭では、保育園の入園の状況などについて様々な心配がある。
今後の町内の保育園の入園基準状況。

問 令和3年度の保育園等の待機児童。

答 **民** 待機児童は発生しない見込み。

問 現在、兄弟姉妹で別々の保育園等に通っている子どもはいるか。

答 **民** 令和2年度は21世帯。

問 令和3年度の入園児で兄弟姉妹が別の保育園に通う子ども。

答 **民** 令和3年度は5〜10世帯程度と見込んでいる。



問 入所基準の一部変更があり、令和3年度は1歳児の入所については保護者が各自社会保険に加入している必要はなくなったが、引き続き0歳児の入所には必要とされている理由。

答 **民** 1〜2歳児の保育ニーズの増加と0歳児の保育士配置基準により、多数の保育士確保が必要となり保育士の確保ができていない。

問 今後、0歳児の入所基準について同様に変更する考え。

答 **民** 保育士確保と民間園との入園調整に努め、社会保険等の加入要件の撤廃を段階的に進める。

学校選択 教室不足はない

令和2年度より東部小学校と英比小学校の学校選択制が始まった。

令和2年度は、地域の方や保護者、学校の先生、町の協力もあり順調にスタートすることができたことに感謝している。
令和3年度も問題なく子ども達が通学できるのか。

問 各学校への入学希望が、かたより「教室が足りない」「希望の学校へ入れない」などの問題が生じていないか。

答 **教** 英比小学校の新生一年生は通常学級1、特別支援学級1クラス増の見込み。
増加したクラスの対応は空き教室を利用。

東部小学校は選択制の効果で1クラス増が抑制できた。両学校で教室が不足することはない。

答 **教** 対象地区の陽なたの丘地区と宮津団地の児童数は、123人。90人が東部小学校、43人が英比小学校を選択。



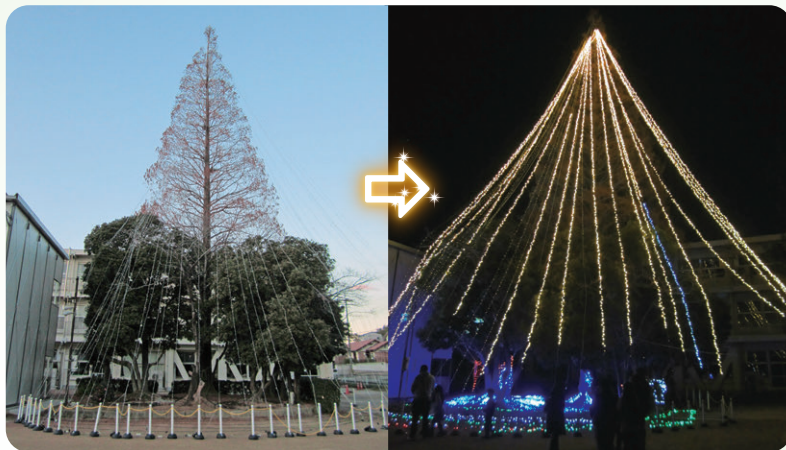
東部小学校増設校舎

学区探訪
シリーズ 05
東 部

東部小学校のシンボル樹木「メタセコイア」に30m越えのイルミネーションツリー・校舎の壁や通路を利用して光の回廊・グラウンドにキャンドルタワー・ステージでは、豪華なゲストアーティストも来場しましたが、コロナ禍でもあり「三密」を避けて自宅からでも好きな場所でイベントやイルミネーションを鑑賞できるように12月20日『YouTubeライブ配信』21日から25日までイルミネーション点灯しました。



EGG SHELL



メタセコイア



The Swings

東部コミュニティキャンドルナイト

今年は規模を縮小しての東部コミュニティ推進事業プレミアムキャンドルナイトを開催しました。



キャンドルタワー



光の回廊

次回定例会
3月8日月(開催予定)
 午前10:00~
 皆さんの傍聴をお待ちしています
 問い合わせ先
TEL 48-1111
FAX 48-1711
 議会事務局へ

- 議会だより編集特別委員会
- 委員長 都築清子
 - 副委員長 竹内秋男
 - 委員 久保秋男
 - 委員 小柳みゆき
 - 委員 竹内卓美
 - 委員 新美三喜雄

「冬は必ず春となる」道理であつても、この先の見通しが立たないと思われる時、この言葉に何度となく助けられています。

人は新しい生活様式の中でも、何とかこの環境で状況に合わせた工夫をするものだと思いました。一大決心でパソコンを始めた友とリモートで会話。いつもより手をかけて作る「おうちご飯」は家族の笑顔も5割増。

強かさで難局を乗り越え、春を迎えたいと思います。(都築清子)

編集後記